

宇治市議会議長 松峯 茂 様

宇治小学校の小学校単独建て替えを求める請願

宇治小学校の老朽化に伴う「建て替え」に際して、約 1000 人規模の「小中一貫校」建設の計画が進められています。今年 4 月には基本設計が出され、宇治小学校の保護者や地域住民への説明会も開催されましたが、その中では、多くの不安や疑問も出されています。

もともと、宇治小学校の保護者の願いは、「老朽化が著しく耐震性も低い学校施設を、早急に安全なものに建て替えてほしい」というもので、小中一貫校の建設ではありませんでした。小学校単独の建て替えであれば、子どもたちは新しい安全な施設の中で、のびのびと勉強し、運動することができます。小中一貫教育は、他校区の小中学校と同様に、中学校との連携を強めることで実現できるはずです。

対して、今の小学校の敷地に中学校も併設することは、どんな工夫をしても狭いがゆえの無理が生じます。具体的には、

①1000 名以上の小中学生が使用するには狭いグラウンド→危険な上、部活動・育成学級利用・地域開放も制限

②教室の大きさ・数ともに最低限→将来、少人数学級にしたいでも対応できない

③地下施設をつくらざるを得ない（給食室、駐車場など）→死角が多い上、災害時に危険何より、1000 名以上の、しかも 6 歳から 15 歳までの体格差の大きい児童・生徒が同じ校舎・グラウンドで一緒に生活することによって、事故が起きないか、小中学生のどちらも互いに大きなストレスを感じるのではないかという不安を多くの保護者が感じています。

敷地条件が整わず、このように多くの不安や疑問がある中で、校区のほとんどの子どもが通うことになる公立の小学校を「小中一貫校」に建て替えるのは早計です。新しい形態である「小中一貫校」の建設には、条件の整備や慎重な議論、保護者や地域住民の理解、先例の検証が不可欠です。しかし、宇治小学校の建て替えは急務なのです。

従って、宇治小学校を「小中一貫校」として建て替えることは取りやめ、単独の小学校として建て替えることを求めます。子どもたちに、新しい安全な校舎や体育館、そして今まで同様の広いグラウンドで、のびのびと勉強・運動をさせてやりたいという保護者や地域住民の願いに応えてください。

【請願項目】

宇治小学校の「小中一貫校」計画を取りやめ、単独の小学校として建て替えてください。

氏 名	住 所

取扱い団体 宇治小の小学校単独建て替えを求める会
代表：神谷和憲 TEL090-7761-0727